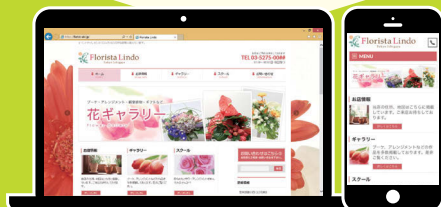


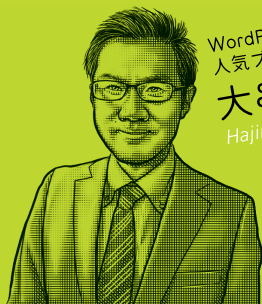
HTML・CSSの知識は一切不要！
はじめてでも、
挫折しません。



パソコン&スマホ
サイト両対応



人気テーマ開発者
石川栄和
Hidekazu Ishikawa



WordPress
人気ブログ発起人
大串 肇
Hajime Ogushi



講師経験100回以上
星野邦敏
Kunitoshi Hoshino

いちばんやさしい WordPress の教本

ワードプレス

人気講師が教える
本格Webサイトの作り方

WordPress 4.x 対応
WordPress入門書
売上No.1*

著者プロフィール

石川 栄和 (いしかわ ひでかず)

Webを中心とした広告制作事業を行う株式会社ベクトルの代表取締役。ビジネス向けWordPressテーマ「BizVektor」の公開をはじめ、WordPressに関するイベントでの登壇、協賛・実行委員として開催を支援するなど、WordPressの普及に関わっている。

- 株式会社ベクトル : <http://www.vektor-inc.co.jp>
- BizVektor [ビズベクトル] : <http://www.bizvektor.com>



大串 肇 (おおぐし はじめ)

フリーランスのWebディレクターとして屋号「mgn」にて活動中。WordPressコミュニティから集まった、現役のディレクター、デザイナー、プログラマー、アフィリエイトなどが共同執筆するブログ「WP-D」の発起人。WordCamp Tokyo 2013において実行委員長を務める。

- mgn : <http://m-g-n.me>
- WP-D : <http://wp-d.org>



星野 邦敏 (ほしの くにとし)

自社保有メディアのサイト運営によるインターネット広告事業・WordPressによるサイト制作事業・コワーキングスペース運営事業を行う株式会社コミュニティコム代表取締役。埼玉県さいたま市の大宮駅東口徒歩1分のコワーキングスペース「7F」の運営代表者。大宮経済新聞の編集長。WordPress日本語公式サイトのイベントカレンダー更新、WordPressイベントにスタッフやスピーカーとして活動、WordPressに関する講師回数は100回を超えるなど、WordPressの普及に関わっている。

- 株式会社コミュニティコム : <http://www.communitycom.jp>
- コワーキングスペース「7F」 : <http://office7f.com>
- 大宮経済新聞 : <http://omiya.keizai.biz>



執筆協力: 鈴木 舞 (すずき まい)

本書は、WordPressについて、2014年10月時点での情報を掲載しています。
また、WordPressのバージョンは4.0を使用しています。
本文内の製品名およびサービス名は、一般に各開発メーカーおよびサービス提供元の登録商標または商標です。
なお、本文中にはTMおよび®マークは明記していません。

はじめに

数

あるWordPress関連書籍の中から「いちばんやさしいWordPressの教本」を手にとっていただき、ありがとうございます。これから私たちと一緒にWordPressを利用した、Webサイト（ホームページ）の作り方を学んでいきましょう。

でも「Webサイトを作る」と考えると、専門的な内容が出てきて難しそうな印象がありませんか？ 大丈夫です！ 本書ではソースコードを書くといったプログラムの作業はなるべく不要になるように考えました。基本的にはマウス操作だけでどんどん進められる構成になっています。

そんな内容をご評価いただけたのか売れ行きも好調で、おかげ様で第2版を刊行するにいたりしました。第2版では、近年スマートフォンをはじめとするモバイル端末への対応がより重要になった背景も踏まえて、モバイル端末での表示画面も追加しつつ、最新のWordPress 4.0の画面で手順を説明しています。

WordPressは、シンプルでわかりやすい投稿画面で操作でき、さまざまな機能を追加するためのプラグインという仕組みを利用することで、Webサイトを簡単にパワーアップできます。楽しみながら、実力のあるWebサイトを一緒に作っていきましょう！

もちろん、HTMLやCSS、PHPといったプログラムの知識があれば、さらに独自のカスタマイズを加えていくこともできます。本書が、ただ簡単だけではなくWordPressの奥の深さに興味を持ってもらえるきっかけになってくれると幸いです。

本書の執筆にあたり、コワーキングスペース「7F」スタッフの鈴木舞さんには原稿を読んでいただきました。インプレスのクリエイティブビジネス編集部の皆さんや、編集担当の竹内亮介さんには、編集者の域を超えてご協力いただきました。この場を借りて感謝いたします。それでは一緒にWordPressでWebサイトを作っていきましょう！

2014年10月

石川栄和、大串 肇、星野邦敏

「いちばんやさしいWordPressの教本」の読み方

「いちばんやさしいWordPressの教本」は、はじめての人でも迷わないように、わかりやすい説明と大きな画面でWebサイトの作り方を解説しています。

「何のためにやるのか」がわかる！

薄く色の付いたページでは、WordPressでWebサイトを作る際に必要な考え方を解説しています。実際の手順に入る前に、操作の目的と意味をしっかりと理解してから取り組みます。

タイトル

レッスンの目的をわかりやすくまとめています。

リード

このレッスンを読むとどうなるのか、何に役立つのかを解説しています。

Lesson 49 [Webサイトへの集客]
**訪問してもらえ
Webサイトにしよう**

せ っかく時間をかけてWebサイトを作成しても、誰にも訪問してもらえない意味がありません。そのために、まずは訪問する価値のある情報をたくさん用意しておくことが重要です。さらに、ただ情報が置いてあるだけでは、Webサイトの訪問にはつながりません。情報が用意できたら、**自分のWebサイトにどんな情報があるのかをさまざまな手段で告知**していきます。このサイクルを意識して、少しずつ訪問者を増やしていきます。

Webサイトで情報を発信
↓
いろいろな手段で告知

Webサイトで作成したら、まずはリアルな友達、ご近所、仕事仲間にWebサイトを公開したということを伝えるのもいい方法です。すでにFacebookやTwitterを公開したことを伝えましょう。ソーシャルメディアを利用した告知は、検索エンジンとは違い自分の力で告知できることも魅力です。また、Webサイトの訪問者に、Webサイトの情報をソーシャルメディア上で広めてもらいやすいように対策しておくことも重要です。詳しくはLesson 53、Lesson 54で解説しています。

Webサイトを利用する4つの経路を覚える

告知したURL
Googleなどの検索エンジン
ソーシャルメディアの投稿
ほかのWebサイトからのリンク

まずは、訪問者がどんな経路でWebサイトに訪れるのかを把握しておきましょう。まず、わかりやすいのはURLを入力してもらうことです。チラシやショップカードなどで告知したURLから訪問してもらうパターンです。また、インターネットならではの経路として、Googleなどの検索エンジンをたどって訪問されるケースも意識しておきましょう。さらに、最近ではお店のTwitterやFacebookページなどのソーシャルメディア（SNS）で、Webサイトの更新情報を発信するケースも増えています。また、Webサイトのコンテンツが充実し、知名度が上がってくるとほかのWebサイトで紹介されてリンクが張られることもあるでしょう。

検索でヒットするWebサイトを目指す

検索エンジンから訪問してもらうことを考えるには、検索エンジンの仕組みを知ることが重要です。検索エンジンでは、そのWebサイトをインデックス（自動的に検索エンジンに各ページが登録される）した後、検索エンジンの独自ルールによってキーワードでの表示順序が決定されます。つまり、検索エンジンに正しく認識してもらうための対策が重要になるので、詳しくはLesson 51、Lesson 52で解説しています。

ソーシャルメディアを利用して告知する

Webサイトを作ったよ！
↓
訪問してみよう！
Facebook・Twitterで告知する

会話パート

実際のセミナーや講義をもとにしたやりとりで、その場で教わっているかのように理解を深められます。

本文

Webサイトを作る際に大事な考え方を、画面や図解をまじえて丁寧に解説しています。

「どうやってやるのか」 がわかる！

操作手順は、大きな画面でひとつひとつのステップを丁寧に解説しています。操作途中で迷いそうなことは、POINTやQ&Aで補足説明があるのでつまづきません。

手順

番号順に操作をしていきます。画面のどこを操作するのかも、赤く囲んで指しています。

POINT

その操作を行う際の注意点や補足説明です。

● キーカラーを設定する

1 キーカラーの設定画面を表示する

- 1 設定ページを参考にテーマカスタマイズを表示します。
- 2 [NEAT設定] をクリックします。
- 3 【キーカラー】の【色を選択】をクリックします。

2 キーカラーを設定する

- 1 設定ページを参考に色と彩度を選択します。
- 2 【キーカラー（薄）】の【色を選択】をクリックします。

Q&A

背景画像はどういう画像を準備したらいいの？

背景画像を大きく表示する場合、当然ながら使用する画像のクオリティーに気を付けたいと察入らなくてはなりません。光量が少ない暗い写真はそのまま使用すると自然な雰囲気にならず、遠く鮮やかに補正してしまうので、写真の加工ソフトなどで、背景画像が必要以上に目立って落ちない場合は、ぼやけた写真を使用するようにしましょう。アップロードするファイル形式はJPG、GIF、PNGなら特に問題ありません。ファイルサイズが小さくなる形式を利用しましょう。

3 キーカラー（薄）を設定する

- 1 設定ページを参考に色と彩度を選択します。
- 2 【保持して公開】をクリックします。

POINT
キーカラー（薄）には、手順2の設定よりもカラーピッカーの上に、カラーライタを下にドラッグした色を選択します。

4 キーカラーが設定された

キーカラーが設定されたWebサイトの随所で使用されるようになります。まだメニューなどを設定していないため、キーカラーがまだ目立っていませんが、ボタンや線の色が設定したキーカラーに変更されています。

COLUMN

キーカラーの（明）と（薄）のコツ

手順3の画面で設定するキーカラー（明）は、ボタンなどにマウスインターを合わせたときに明るく表示される色です。カラーライタでキーカラーよりも少し上げて、ボタンを選択していることをアピールできるように鮮やかに設定しましょう。手順4の画面で設定するキーカラー（薄）は、メインメニューに、マウスインターを合わせたときの背景色として表示されます。彩度が高いとメニューの文字が読めなくなってしまうので、文字の見やすさを兼ねないよう淡い色を設定します。薄いカラーピッカーは一番上へ、右側の彩度スライダーは一番下よりも少し上くらいがちょうどいい設定になります。

Q&A

よくある質問や迷いがちなことを、Q&A形式で解説しています。

コラム

レッスンに関連する知識や知っておくと役立つ知識を、コラムで解説しています。

※ここで紹介している紙面はイメージです。本書の実際の内容とは異なります。

いちばんやさしい WordPress の教本

人気講師が教える
本格Webサイトの作り方
WordPress 4.X 対応

第2版

Contents

目次

著者プロフィール.....	002	用語集.....	247
はじめに.....	003	索引.....	251
本書の読み方.....	004	本書のサンプルサイトの 画像について.....	254

Chapter

1

自分のURLで Webサイトを公開しよう

page
11

Lesson

01	[WordPressとは] まずWordPressとは何かを知りましょう	page 12
02	[ページの作成] WordPressの機能を使ったページの作成方法を理解しましょう	14
03	[スマートフォンへの対応] パソコンとスマートフォン両対応のWebサイトの仕組みを理解しましょう	16
04	[デザインと機能] WordPressで作るWebサイトのデザインの設定方法を知りましょう	18
05	[Webサイトを作る準備] Webサイトを作るのに必要な準備を知りましょう	20
06	[レンタルサーバーの契約] レンタルサーバーを選んで契約しましょう	22
07	[独自ドメインの取得] 自分だけのドメインを取得しましょう	28
08	[ネームサーバーの設定] 独自ドメインでWebサイトが表示されるようにしましょう	33

2 WordPressの 初期設定をしよう

page
39

Lesson

09	[WordPressのインストール]	page
	簡単インストールでWordPressを利用できるようにしましょう	40
10	[WordPressのアップデート]	
	最新のバージョンにアップデートしましょう	46
11	[独自ドメインでのWebサイト表示]	
	独自ドメインでWebサイトが表示されるように設定しましょう	48
12	[ログイン/ログアウト]	
	管理画面へのログイン方法を覚えましょう	52
13	[管理画面の画面構成]	
	WordPressの管理画面の見方を覚えましょう	54
14	[Webサイトの名前]	
	Webサイトの名前とキャッチフレーズを設定しましょう	56
15	[パーマリンク]	
	パーマリンク(ページのURLの形式)は最初に設定しておきましょう	58
16	[検索エンジンのインデックス]	
	完成まで検索エンジンにヒットしないようにしましょう	60
17	[Webサイトの表示]	
	Webサイトを更新する流れを確認しましょう	62

3 Webサイトのデザインを 決めよう

page
65

Lesson

18	[Webサイトのレイアウト]	page
	Webサイトのレイアウトを決めましょう	66
19	[テーマの設定]	
	デザインとレイアウトを決めるテーマを設定しましょう	68
20	[基本デザインの設定]	
	BizVektorの基本デザインを設定しましょう	76
21	[ロゴの設定]	
	Webサイトのロゴを設定しましょう	81

Lesson

22	[色の設定] Webサイトのイメージに合った色合いを決めましょう	page 84
23	[背景画像の設定] 背景画像を設定してWebサイトを華やかにしましょう	90
24	[ヘッダー画像の設定] Webサイトの顔となるヘッダー画像を設定しましょう	93
25	[連絡先の設定] お店の連絡先を掲載しましょう	97

Chapter

4

掲載するコンテンツを
作成しようpage
101

Lesson

26	[コンテンツの作成] どんなコンテンツを作っていくのか整理しましょう	page 102
27	[「投稿」と「固定ページ」] 「投稿」と「固定ページ」の違いを覚えましょう	104
28	[投稿の公開] 「投稿」機能で新規ページやブログ記事を作成しましょう	106
29	[画像付きの投稿] 投稿に画像を付けて内容を伝わりやすくしましょう	110
30	[文字の装飾] 文字の装飾やリンクの設定で投稿を読みやすくしましょう	116
31	[動画の投稿] YouTubeの動画を掲載した投稿を公開しましょう	121
32	[アイキャッチ画像] アイキャッチ画像を設定して投稿に興味を持ってもらいましょう	127
33	[投稿の編集や削除] 投稿内容の修正や削除の方法を覚えましょう	131
34	[カテゴリーの整理] ジャンルごとに投稿をカテゴリーに分けて整理しましょう	135
35	[固定ページの作成] 決まった場所に表示したい情報は固定ページとして作成しましょう	140
36	[固定ページのテンプレート] テンプレートや親子関係を設定して固定ページの内容を充実させましょう	142
37	[メディアの活用] 画像の管理や編集の方法を覚えましょう	144

Chapter

5

サイト全体の
ナビゲーションを整えようpage
149

Lesson

- 38 [Webサイトのナビゲーション] page
Webサイトに設定できるナビゲーションの役割を理解しましょう 150
- 39 [メインメニューの設定]
コンテンツの入り口となるメインメニューを設定しましょう 152
- 40 [サイトマップの作成]
コンテンツを一覧で表示するサイトマップを作成しましょう 162
- 41 [フッターメニュー]
サブコンテンツはフッターメニューに設定しましょう 164
- 42 [ウィジェット機能の活用]
ウィジェットを設置してコンテンツへの入り口を充実させましょう 167
- 43 [PRエリアの設定]
重要な情報はトップページのPRエリアでアピールしましょう 171

Chapter

6

プラグインを利用して
機能を追加しようpage
175

Lesson

- 44 [プラグイン] page
WordPressの機能を強化するプラグインを追加しましょう 176
- 45 [地図の掲載]
スマートフォンからも見やすいアクセスマップを掲載しましょう 179
- 46 [問い合わせフォームの設置]
訪問者からの要望に応える問い合わせフォームを作成しましょう 184
- 47 [ギャラリーの作成]
ギャラリーを作成して商品や作品をアピールしましょう 190
- 48 [スライドショーの設定]
スライドショーを表示してキャンペーンを告知しましょう 197

Lesson

- | | | page |
|----|--|------|
| 49 | 【Webサイトへの集客】
訪問してもらえるWebサイトにしましょう | 202 |
| 50 | 【アクセス解析】
アクセス解析で訪問者の推移を調べましょう | 204 |
| 51 | 【SEO対策】
SEO対策で検索エンジンからの訪問者を増やしましょう | 207 |
| 52 | 【サイトマップの送信】
GoogleのウェブマスターツールにXMLサイトマップを登録しましょう | 209 |
| 53 | 【ソーシャルメディア連携】
ソーシャルメディアと連携して更新を積極的に告知しましょう | 215 |
| 54 | 【ソーシャルボタンの設置】
Webページのリンクを投稿できるソーシャルボタンを設置しましょう | 220 |

Lesson

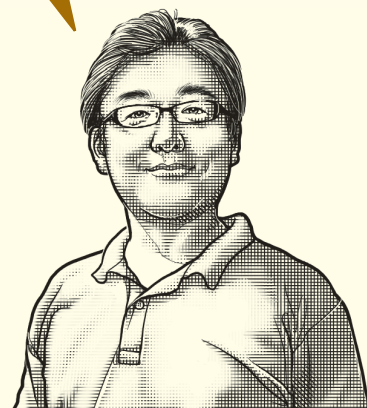
- | | | page |
|----|---|------|
| 55 | 【パスワードの管理】
強力なパスワードを設定してセキュリティを強化しましょう | 224 |
| 56 | 【コメントの管理】
コメントの管理が難しければコメント欄を非表示にしましょう | 226 |
| 57 | 【管理者の追加】
複数人で管理する場合はユーザーを追加しましょう | 231 |
| 58 | 【Webサイトデータのバックアップ】
定期的にバックアップを行う仕組みを作りましょう | 234 |
| 59 | 【Webサイトのデータのセキュリティ】
バックアップサービスのパスワードを定期的に変更しましょう | 243 |

Chapter

1

自分のURLで Webサイトを 公開しよう

まずはWebサイトのデータを保存しておく場所となる「サーバー」、インターネット上で自分のWebサイトの住所となる「ドメイン」など、Webサイトを持つために必要な準備をしていきましょう。



Lesson

01

[WordPressとは]

まずWordPressとは何かを知りましょう

WordPressとは、個人のブログから企業サイトまでさまざまなWebサイトで利用されているシステムです。**特別な知識がなくても簡単な操作で本格的なWebサイトが作れたり、情報を追加・更新したりできる**

ことが特徴です。これまで見ていたWebサイトも「実はWordPressで作られていた！」なんてことがよくあります。まずは、なぜWebサイトを作成する際にWordPressがおすすめなのかを見ていきましょう。



私、花屋をしているんですけど、もっとお店のことを知ってもらいたくてWebサイトを作りたいんです。

花屋さんのWebサイトなら、お店の地図を掲載したページや、販売している花の写真が掲載されたギャラリーとかもほしいですね。



まさにそんな感じです！やりたいことはたくさんあるんですけど、どんどん難しくなっちゃう気がして。

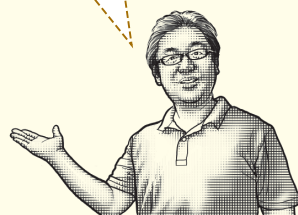
じゃあ、WordPressで作ってみましょうか！まずは、どんなWebサイトを作成できるのかを見ていきましょう。



○ WordPressで作成できるWebサイト



この花屋さんのWebサイトはWordPressで作成したものです。WordPressは、Webサイト作成の特別な知識がなくても、簡単なブログから本格的なWebサイトまで簡単に作成できる仕組み（ソフトウェア）のことです。



Lesson [ページの作成]

02

WordPressの機能を使った
ページの作成方法を理解しましょう

次に、具体的にはどのようにWebサイトを
作成していくのか、WordPressの
基本的な機能を確認していきましょう。**Web
サイトは、たくさんのページが組み合わさっ**

て1つのサイトとして構成されています。
WordPressでは「投稿」と「固定ページ」の2
種類を使い分けてページを作成できるように
なっています。



どうやって、いろんなページを作っていくんですか？

WordPressってももとはブログを作るために用意されたソフトウェアなんです。でも、ブログの仕組みだけでは、お店や会社のWebサイトは作れません。どうしてかわかりますか？



たまに、ブログをWebサイト代わりに使っているお店を見かけるんですが、最新の情報はわかって、肝心の営業時間や定休日とか地図が見つからないんですね。

そうなんです。もしブログの機能だけでWebサイトを作ったら、お店の営業案内や地図などの重要なページが古いページとして埋もれてしまうんです。それを解消するために、WordPressには「固定ページ」という機能が用意されているんですよ。



○「固定ページ」と「投稿」を使い分けてコンテンツを作成する

お店の情報

お店の地図

商品の一覧

お知らせ

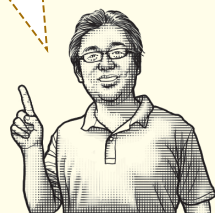
入荷情報

店長ブログ

WordPressでは、最新の投稿がブログのようにどんどん更新されていく「投稿」機能と、常に特定の場所に掲載する重要な情報を作成するための「固定ページ」機能が用意されています。

めったに内容が変わらない基本のページは「固定ページ」で作成する

日々更新され、時系列で見せたい情報は「投稿」として作成する





なるほど！固定ページを使えばいろいろな種類のページを作れそうですね。ページは
どういう操作で作るんですか？

ブログを作成するためのソフトウェアとして作られただけに、
ページの作成はとても簡単です。基本的にはタイトルと文章
を入力するだけで簡単にページを作成できますよ。



画像や動画を入れたこだわりのページとかは
作れないんですか？

画像を入れたページも直感的に作成できるようになっています。ペー
ジの作りやすさは、作った後の情報の更新のしやすさにもつながりま
す。これを理由にWordPressを導入する人も多いんですよ。

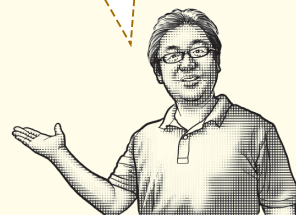


○ ブログのシステムで簡単にページを作成できる

Webサイトに使用
する画像を管理
する機能も用意
されている。

管理画面のページを作成する機
能から、タイトルや文章を入力し
ていくだけでページを作成でき
るようになっています。画像を管理
するライブラリ機能も用意されて
います。よく利用する機能を気軽
に扱えるのは安心ですね。

ブログのシステムで「投稿」も「固定ページ」も作成できる。



Lesson

[スマートフォンへの対応]

03

パソコンとスマートフォン両対応の
Webサイトの仕組みを理解しましょう

パソコンだけではなく、スマートフォンやタブレットなど小さな画面の機器でWebサイトを訪れる人が増えています。そこで注目されているのが「レスポンスWebデザイン」という考え方です。レスポ

ンスとは「反応がよい」という意味で、パソコンなど大きな画面で表示するときは大きいままで、スマートフォンなど小さな画面で表示するときは自動的に見やすいレイアウトに調整するWebサイトの作り方です。



最近はスマートフォンやタブレットでインターネットを利用する人も増えたそうですが、パソコン向けのWebサイトとは別に作っていくのは面倒そうですね。

そんなことはありませんよ。本書で紹介している手順で作業していけば、画面の大きさに合わせてレイアウトを自動で調整してくれるWebサイトが作れます。



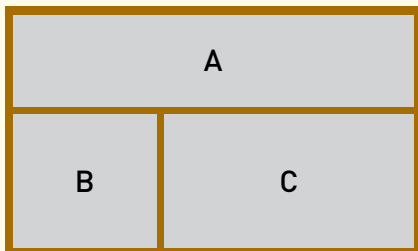
それは便利ですね！コンテンツの作成や更新作業だけに集中できるのはうれしいです。

ただ、画像のサイズなどスマートフォン向けに調整しなければならない部分もあるので注意が必要です。



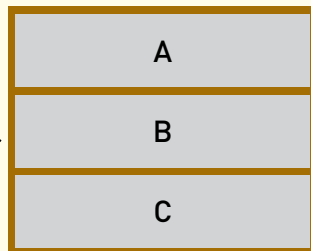
○ 表示する機器に合わせてレイアウトを変更する

・ パソコンの表示



パソコンの画面は広くて大きいので、左右の領域を広く使って各コンテンツを配置する。

・ スマートフォンの表示



スマートフォンやタブレットの縦表示は画面の横幅が短いので、各コンテンツを縦に並べて配置する。

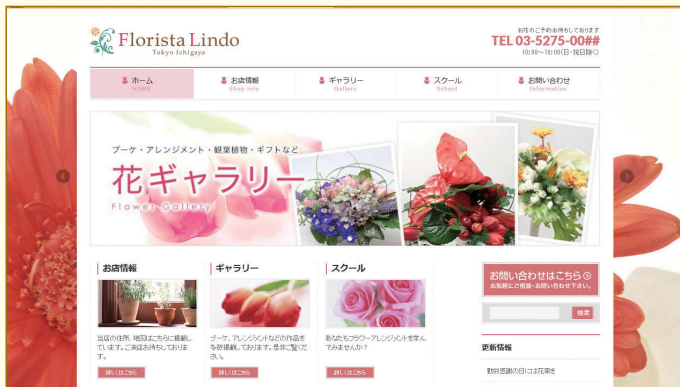


○ 実際にパソコンとスマートフォンに表示してみる

後述しますが、本書で利用するWordPressのテーマ「BizVektor」は、標準でレスポンスWebデザインに対応しています。作成したWebサイトを、パソコンとスマートフォンそれぞれで表示した画面を掲載しているので、その変化を確認してみましょう。パ

ソコンでは上部によく使うメニューが表示され、お店情報やギャラリーへのリンク、更新情報が左右に並ぶレイアウトです。しかしスマートフォンでは、よく使うメニューのほか、ほぼすべての要素が縦に並ぶレイアウトに変わります。

パソコン



広い画面を生かして、メニュー、お店情報、ギャラリー、スクール、問い合わせ先などをスクロールせずに俯瞰できる。

スマホ縦表示



スマートフォンでは、メニューや連絡先は省スペース化のために電話のデザインのボタンになり、必要な人はそこをタップすれば情報が表示される。お店情報、ギャラリー、スクールなどは横一列から縦一列に切り替わって表示される。

スマホ横表示



スマートフォンを横向きにして表示すると、縦表示のときの配置のままに横幅を広げて表示する。画像のサイズが大きくなるほかに、1行に表示できる文字量が増えるので長めの文章を読みやすくなる。

本書では各Lessonでの完成イメージ紹介時に、パソコンでの表示画面とともに、スマートフォンでの表示画面も掲載しています。パソコンとスマートフォンの見え方の違いをよくチェックし、Webサイト構築の作業に役立ててください。



Lesson

[デザインと機能]

04

WordPressで作るWebサイトの
デザインの設定方法を知りましょう

ページの作りやすさだけが、WordPress
の特徴ではありません。**Webサイト
全体の構成やデザインを決めるための「テーマ」**
や、**さまざまな機能を追加できる「プラグイン」**
が**たくさん公開されています**。この

テーマやプラグインを活用することによって、
CSSなどの専門的な知識がなくても、それら
を選ぶだけでWebサイトのデザインを変えたり、
機能を追加したりできるようになっています。



全体のデザインやレイアウトは
どうやって作っていくんですか？

WordPressには「テーマ」と呼ばれるWebサイト全体のデザイン
とレイアウトを決めるテンプレートが用意されているんです。
さらに、「プラグイン」という仕組みを使って、後からどんどん
機能を加えていけますよ。

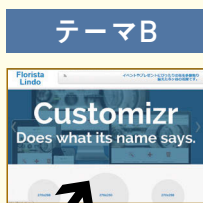
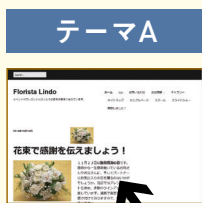


デザインのセンスがないので
不安です。

安心してください！基本的にはたくさんあるテーマや
プラグインの中から必要なものを選んでいくだけです。
どんどんデザインや機能を追加していけますよ。



○「テーマ」を選ぶだけでデザインや構成が決まる



テーマをセット
するだけでデザイン
や構成を変えられる



「ブログ風のデザイン」「企業のWebサイト」など目的に合わせたWebサイトの構成
とデザインを決められるのが「テーマ」です。
テーマを適用するだけで、同じコンテンツ
のWebサイトでも大きく印象が変わります。



○「プラグイン」で機能が増えていく

問い合わせ
フォーム作成

ソーシャル
メディア連携

アクセス解析

管理画面にさ
まざまな機能
を追加できる



プラグインを追加すること
で管理画面でできることが
増えていきます。

例えば、問い合わせ用のページを作成する
機能などを追加できるのが「プラグイン」
という仕組みです。必要な機能をどんどん
追加していけるようになっています。



自分でゼロから作っていくわけじゃないんですね！

プラグインやテーマを選んで、プラモデルのように組み立て
ていく感じですね。WordPressは利用者も多いので、テーマや
プラグインもたくさん用意されていますよ。



何だか私にも作れそうな気がしてきました。

その意気です！では、実際の作り方を
順番に学んでいきましょう！



Lesson
05

[Webサイトを作る準備]

Webサイトを作るのに
必要な準備を知りましょう

私 たちが普段見ているWebサイトは、どのような仕組みで表示されているのかわかりますか？ インターネットを見ているだけなら、深く考えたことがない部分かもしれません。でも、これから自分が情報を発信

する側になるにあたって、**この仕組みが頭に入っているかどうかで、理解の度合いやつまづき具合も変わってきます。**いくつかのステップを踏んで、しっかり学んでいきましょう。



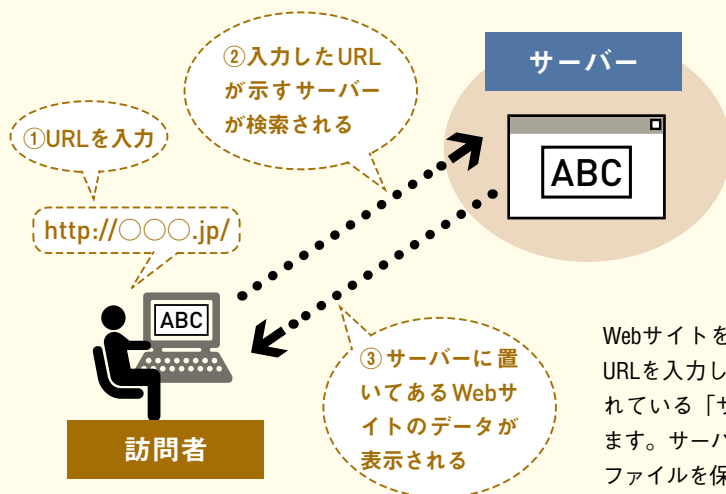
やる気がわいてきました！ 何からはじめたらいいんですか？

まずは、Webサイトがどうやって表示されているかを理解しないといけませんね。



今まで考えたこともなかったです。よろしくお願いします。

○ Webサイトが表示される仕組み



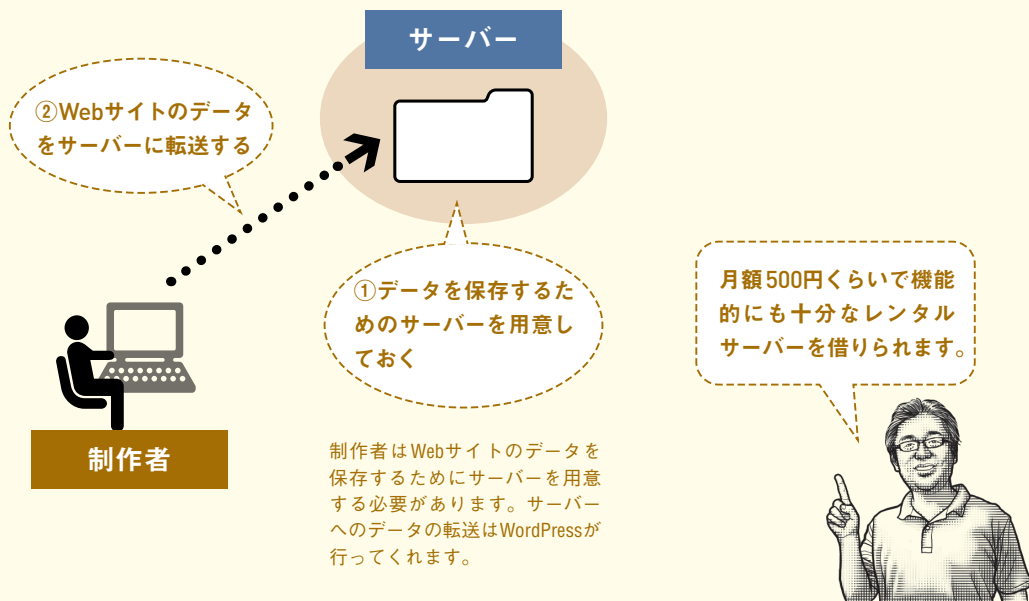
訪問者がブラウザでURLを入力すると、対応するサーバーが検索されます。サーバーに保存されているWebサイトのデータがブラウザに表示されることで、Webサイトが表示されます。

Webサイトを表示するには、まずブラウザでURLを入力して、Webサイトのデータが保存されている「サーバー」を検索する必要があります。サーバーというのはWebサイトに必要なファイルを保存しておく場所のことです。サーバーに保存されたファイルが、ブラウザ上でWebサイトとして表示されます。つまり、Webサイトを公開するには、「サーバー」と「URL」が必要になるのです。

○「サーバー」はレンタルサーバーを借りる

前ページの図は訪問者側の視点でしたが、Webサイトの制作者はサーバーにWebサイトのデータを転送する必要があります。ただ、この転送作業はWordPressが行ってくれるので特に気にしなくても大丈夫です。しかし、サーバーの用意はしなければなりません。とはいえ、自分で何か機械を買ってき

て設定するわけではありません。さまざまな会社が、サーバーを月額数百円でレンタルできるサービスを提供しているので、これを利用します。データを置くためのロッカーを借りると考えるとイメージしやすいかもしれませんね。レンタルサーバーについては、Lesson 6で詳しく解説します。



○ 自分だけのURLを取得する

サーバーにデータが置いてあるだけでは訪問者はそのデータにたどり着くことができません。そこで必要となるのが、サーバーの場所を示す住所となる「URL」です。このURLを決めるのが「ドメイン」です。例えば、「http://○○○.jp」というURLでは、「○○○.jp」の部分がドメインになります。このドメイ

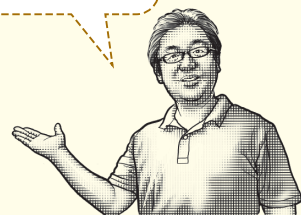
ンは、早い者勝ちで自由な名前を取ることができ、そのようなドメインを「独自ドメイン」と言います。お店や会社の名前が入ったドメインを持つことで、Webサイトの信頼度がぐっと上がります。詳しくはLesson 7で解説します。

・WebサイトのURL

http://○○○.jp/

ドメイン

せっかくだから、オリジナリティがあって、覚えやすいものにしたいですね！



Lesson

[レンタルサーバーの契約]

06

レンタルサーバーを選んで
契約しましょう

最初に、これから作る自分のWebサイトのデータを置くために「レンタルサーバー」を契約します。「サーバーを契約」と聞くと身構えてしまうかもしれませんが、特に難しいことはありません。本書ではレンタルサーバー大手の「さくらインターネット」の有料サービス（スタンダードプラン：月額515円）を例に解説します。無料のサービスでもWebサイトは作れますが、広告が消せない

ったり、使える機能に制限があったりします。せっかく自分だけのWebサイトを作るのですから、制限がなく使いやすい有料のレンタルサーバーを契約するのをおすすめします。本書ではWordPressを使ってWebサイトを制作していきます。**「WordPressを簡単にインストールできる」という視点から、サービスを選びましょう。**



レンタルサーバーって、どうやって選べばいいんですか？

「WordPress対応」をうたっているサービスを選べば確実ですね。次ページに一覧表を用意したので、見てみてください。



○「簡単インストール」機能があるサービスを選ぶ

WordPressを使ってWebサイトを作る人が増えていることから、最近はWordPress利用者をサポートしているレンタルサーバー業者も多くあります。具体的には、「簡単インストール」といった機能を設けて、レンタルサーバーの管理画面から指示に従いクリックしていくだけでWordPressをインストールできるようになっています。はじめての人は、そのような「簡単インストール」を用意しているレンタルサーバーを選ぶとスムーズでしょう。

WordPressの簡単インストールに対応したレンタルサーバーがおすすめです。



○ 簡単インストールに対応した主なレンタルサーバー

レンタルサーバー名	月額費用	初期費用	ドメイン
エックスサーバー	1,080円～	3,240円	○
お名前.com	1,404円～	1,944円	○
さくらインターネット	515円～	1,029円	○
ロリポップ!	324円～	1,620円	○ (ムームードメイン)

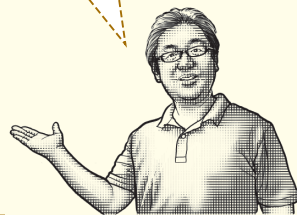
※2014年10月現在の税込み価格。

※WordPressが利用可能な一番安価なプランで月払いにした際の価格。年間一括払いなどで価格は変動する。

レンタルサーバーはお店に行ってお店に契約するものではなく、インターネット上から申し込みをします。それぞれのレンタルサーバーのWebサイトでフォームから申し込みをするので、あらかじめメールアドレスを準備しておく必要があります。多くのレンタルサーバーでお試し期間として1～2週間お金を払う前に試しに使うこともできます。時間があるなら、まずはお試しで使ってみてから本契約をするといいでしょう。

表は、国内でWordPressの簡単インストールに対応している主なレンタルサーバーの一覧です。本書では、「さくらインターネット」で手順を進めていきますが、ほかのサービスを利用してもChapter 2以降のWordPressの操作はほぼ変わりません。

独自ドメインの取得サービスがあるかもポイントですね。



○ WordPressを利用できるプランを選ぶ (さくらインターネットの場合)

プラン	ライト	スタンダード	プレミアム	ビジネス	ビジネスプロ
月額費用	1,543円／年 (月額換算129円)	515円	1,543円	2,571円	4,628円
初期費用	1,029円	1,029円	1,029円	5,142円	5,142円
容量	10GB	100GB	200GB	300GB	500GB
WordPressの簡単インストール	×	○	○	○	○
データベース機能 (MySQL)	×	○ (20個)	○ (50個)	○ (100個)	○ (200個)

※2014年10月現在の税込み価格。

さくらインターネットでは、サーバーの容量や機能に応じて複数のプランが用意されていますが、一番安い「ライトプラン」では、データベース機能 (MySQL) が利用できないため、WordPressをインストールできません。さくらインターネットを利用する場合は、必ず「スタンダードプラン」以上を選びましょう。通常の企業サイトや個人サイトであれば、容量的にもスタンダードプランで十分です。

● レンタルサーバーと契約する

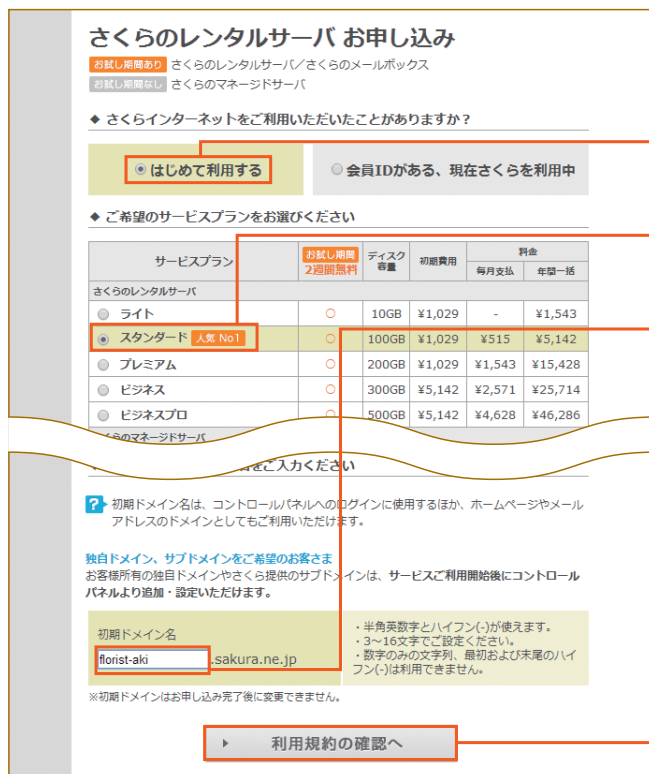


1 さくらインターネットで申し込みをはじめる

1 さくらインターネットのWebサイト (<http://sakura.ne.jp/>) を表示します。

2 上のタブにある【お申し込み】をクリックします。

3 【さくらのレンタルサーバ・さくらのマネージドサーバ・さくらのメールボックス】の【オンラインサインアップ】をクリックします。



2 プランやドメインを選択する

1 【はじめて利用する】をクリックして選択します。

2 【スタンダード】をクリックして選択します。

3 希望するドメイン名を入力します。

4 【利用規約の確認へ】をクリックします。

POINT
独自ドメイン (Lesson 7を参照) を利用しない場合は、ここで入力した初期ドメインがWebサイトのURLになります。店名やWebサイト名などに近いものを入力しましょう。

SAKURA Internet ONLINE SIGNUP

◆ 以下の約款及び個人情報取扱いについてよくご確認ください。

弊社のサービスをご利用になる場合、サービス約款のすべての条項に同意していただく必要があります。また、「個人情報の取扱いについて」をごらんいただき、併せて全ての条項に同意いただく必要があります。同意する場合は「同意する」をチェックしてください。規約に同意しない、またはオンラインサインアップを中止する場合は「同意しない」をチェックしてください。この規約はサービス案内のページにも掲載していますので随時確認していただけます。

基本約款

第1章 総則

第1条（約款の構成および適用）

1. 当社は、以下のとおり構成される当社約款に基づき契約（以下、その契約を「利用契約」といいます。当社と利用契約を締結した者を「利用者」といいます）を締結の上、インターネット関連サービス（以下、「本サービス」といいます）を提供します。

個人情報の取扱いについて

さくらインターネット株式会社（以下、「当社」といいます）では、個人情報の重要性を認識し、個人情報の取扱いに際しては、個人情報保護法（以下「法令」といいます）に基づき、その他の規範を遵守し、個人情報の保護を推進してまいります。

■個人情報の収集

同意する ☒ 同意しない ☐

▶ お客様情報の入力へ

3 利用規約を確認する

- 1 「基本約款」と「個人情報の取扱いについて」の内容を確認します。
- 2 「同意する」をクリックして選択します。
- 3 「お客様情報の入力へ」をクリックします。

SAKURA Internet ONLINE SIGNUP

◆ お客様の情報をご入力ください
(*)印は必須入力となります

メールアドレス(*) : ※ 各種ご案内についての連絡先としてメールをお送りします。携帯電話のメールアドレスは使えません。メールアドレスのご指定についてはこちらの「注意事項」をご覧ください。

メールアドレス(*) : (確認用) 入力ミスを防ぐため、上と同じアドレスを再度入力してください

ご契約者の種別(*) :

ご契約者名(*) : 姓 : 名 :

ご契約者名カナ(*) : 姓 : 名 :

生年月日(*) : 年 月 日

性別(*) : ☒ 男性 ☐ 女性

郵便番号(*) : -

ご住所(*) :
ご契約は日本国内にお住まいの方のみ可能です

街区名・番地等(*) :

建物名等 :

電話番号(*) : - -

携帯番号 : - -

4 メールアドレスと契約者種別を設定する

- 1 使用したいメールアドレスを入力します。
- 2 確認のため再度メールアドレスを入力します。
- 3 契約者の種別を選択します。ここでは、「個人」を選択します。

メールアドレス(*) : (確認用) 入力ミスを防ぐため、上と同じアドレスを再度入力してください

ご契約者の種別(*) :

ご契約者名(*) : 姓 : 名 :

ご契約者名カナ(*) : 姓 : 名 :

生年月日(*) : 年 月 日

性別(*) : ☒ 男性 ☐ 女性

郵便番号(*) : -

ご住所(*) :
ご契約は日本国内にお住まいの方のみ可能です

街区名・番地等(*) :

建物名等 :

電話番号(*) : - -

携帯番号 : - -

5 契約者の情報を入力する

- 1 契約者の姓と名を漢字で入力します。
- 2 契約者の姓と名をカタカナで入力します。
- 3 生年月日を選択します。
- 4 性別を選択します。